

令和2年1月16日

国立大学法人小樽商科大学次期学長予定者の決定について

国立大学法人小樽商科大学
学長選考会議

国立大学法人小樽商科大学学長選考会議は、和田健夫 現学長の任期が令和2年3月31日で満了することに伴い、次期学長予定者を決定したので、国立大学法人小樽商科大学学長選考規程第16条の規定により、下記のとおり公表する。

記

1. 次期学長予定者氏名・所属・職名及び任期

氏名：穴沢 眞（あなざわ まこと）
所属：国立大学法人小樽商科大学商学部
職名：教授
任期：令和2年4月1日～令和6年3月31日

2. 学長予定者に選考した理由

学長選考会議は、令和元年11月13日（水）に選出した4名の学長候補者を対象に、本学学長選考規程第15条に則り、提出された所信、面接、並びに有資格者による意向投票の結果に基づいて協議した結果、穴沢 眞 氏を学長予定者として決定した。

選出した理由としては、同氏が本学の定める学長に求める能力・資質を十分に満たしていること、またグローバルな広い視野からの現状認識と経験に基づく明確な将来ビジョンを示されたことに加え、教育・研究・社会貢献の面においても幅広い経験と実績を有すること、さらに有権者による意向投票においても、教職員から一定の信任と評価を得ていることが挙げられる。

3. 学長予定者選考の過程

1) 学長予定者選考日程

- ・令和元年10月23日(水)
学長予定者選考日程公示
- ・令和元年10月24日(木)～10月30日(水)
投票有資格者名簿の縦覧
- ・令和元年10月31日(木)～11月5日(火)
経営協議会学外委員による学長候補予定者の選出
- ・令和元年11月6日(水)
学長候補予定者の推薦投票
【不在者投票】令和元年10月31日(木)～11月5日(火)
- ・令和元年11月13日(水)
学長候補者の選出
- ・令和元年11月20日(水)
学長候補者の所信の公表
- ・令和元年12月4日(水)
学長候補者名簿に記載された者についての意向投票
【不在者投票】令和元年11月27日(水)～12月3日(火)
- ・令和元年12月11日(水)
学長候補者の面談
- ・令和元年12月18日(水)
得票上位2名についての意向投票(決選投票)
【不在者投票】令和元年12月11日(水)～12月17日(火)
- ・令和2年1月15日(水)
得票上位2名についての意向投票(再決選投票)
【不在者投票】令和2年1月8日(水)～1月14日(火)
- ・令和2年1月15日(水)
学長予定者の選出

2) 学長候補予定者の推薦及び選出

学長選考会議は、令和元年11月6日(水)に実施した学長候補予定者の推薦投票後に、本学学長選考規程第11条第1項に基づき、学長候補予定者を選出した。また、令和元年11月7日(木)に、同規程第11条第2項に基づき、以下のとおり、小樽商科大学学長候補予定者名簿を作成した。

【学長候補予定者】（五十音順）

小樽商科大学教授	穴 沢	眞（あなざわ まこと）
小樽商科大学理事	江 頭	進（えがしらすすむ）
小樽商科大学教授	片 桐 由 喜	（かたぎり ゆき）
小樽商科大学教授	金 鎔 基	（きむ よんぎ）
小樽商科大学教授	近 藤 公 彦	（こんどう きみひこ）
小樽商科大学理事	鈴 木 将 史	（すずき まさふみ）

3) 学長候補者の選出及び候補者名簿の作成

学長選考会議は、本学学長選考規程第11条第3項に基づき、学長候補者となることの諾否の確認を行い、承諾した4名を学長候補者として選出した。また、令和元年11月13日（水）に、同規程第11条第4項に基づき、以下のとおり、小樽商科大学学長候補者名簿を作成した。

【学長候補者】（五十音順）

小樽商科大学教授	穴 沢	眞（あなざわ まこと）
小樽商科大学教授	片 桐 由 喜	（かたぎり ゆき）
小樽商科大学教授	金 鎔 基	（きむ よんぎ）
小樽商科大学理事	鈴 木 将 史	（すずき まさふみ）

4) 学長候補者の所信表明

学長候補者に対して所信の提出を求め、令和元年11月20日（水）に提出された所信を投票有資格者に公表した。

また、令和2年1月15日に実施する得票上位2名についての意向投票（再決選投票）の参考とするため、令和元年12月11日に実施した学長候補者面談の質問項目について、あらためて学長候補者に書面にて回答願ひ、令和2年1月7日に所信に係る追加の情報提供として、投票有資格者に公表した。

5) 意向投票の実施

- ① 令和元年12月4日（水）に学長候補者名簿に記載された者についての意向投票を実施した。投票結果は以下のとおりであり、投票有資格者の過半数の票を得た候補者はいなかったため、得票上位2名の候補者についての意向投票（決選投票）を実施することとした。

投票有資格者数 201名
(過半数 101票)
投票総数 169票

【得票内訳】(得票順, 同数の場合は五十音順)

穴 沢 眞 60票
片 桐 由 喜 47票
鈴 木 将 史 47票
金 鎔 基 13票
(無 効 票 2票)

- ② 令和元年12月18日(水)に得票上位2名の候補者についての意向投票(決選投票)を実施した。投票結果は以下のとおりであり, 投票総数の過半数の票を得た候補者はいなかったため, 得票上位2名の候補者についての意向投票(再決選投票)を実施することとした。

投票総数 165票
(過半数 83票)

【得票内訳】(得票順, 同数の場合は五十音順)

穴 沢 眞 57票
片 桐 由 喜 54票
鈴 木 将 史 54票
(無 効 票 0票)

- ③ 令和元年1月15日(水)に得票上位2名の候補者についての意向投票(再決選投票)を実施した。投票結果は以下のとおりであり, 穴沢 眞(あなざ わ まこと)氏と鈴木 将史(すずき まさふみ)氏が得票同数となったが, 学長選考会議で審議を行った結果, 意向聴取は終了した。

投票総数 165票

【得票内訳】(得票順, 同数の場合は五十音順)

穴 沢 眞 56票
鈴 木 将 史 56票
片 桐 由 喜 53票
(無 効 票 0票)

6) 学長予定者の選出

学長選考会議は、令和元年12月11日に、学長候補者3名に対して面談を実施し、意向聴取の結果を参考に、令和2年1月15日開催の学長選考会議における協議により学長予定者を選出した。

4. その他参考事項

1) 学長任命の手続き

- ・発令希望日の1ヶ月前までに現学長名で文部科学大臣あて文書「学長の任命に関する申し出について」（「選考報告書」添付）を提出する。
- ・文部科学省が本年3月中に開催される閣議にて口頭で了承を得る。
- ・令和2年4月1日付けで大臣から辞令交付を受ける。

2) 学長選考規程第5条に基づき別に定める「学長に求める資質・能力」

(平成26年11月25日学長選考会議決定)

小樽商科大学が掲げる憲章「自由な学風と実学重視の精神を継承し、さらにこれを発展させて、複雑高度化した現代社会の多面的な問題解決への貢献と人類普遍の真理探求を使命とする教育研究機関として、一層の充実を目指す」を踏まえ、再定義されたミッションを確実に達成・実現すべく、学長には以下の資質・能力が求められる。

1. 大学内外から信頼を得られる高潔な人格と優れた学識
2. 本学の歴史と伝統を踏まえ、本学憲章と再定義されたミッションに示された教育と研究の目標を果たし、社会貢献と国際交流を推進する意志と能力
3. 経済社会の変化、財政環境など国立大学をとりまく状況を踏まえ、本学の競争力向上に資する将来ビジョンを打ち立て、実現していく意志と能力
4. 大学構成員の意見に配慮しつつ、本学の経営に指導力を発揮していく能力
5. 社会への発信力と、学外の理解と支持を得る能力

3) 国立大学法人小樽商科大学学長選考会議構成員

議長 佐藤 一彦 (前室蘭工業大学学長)
上林 猛 (前小樽市副市長)
福田 恭一 (公益社団法人緑丘会副理事長)
尾形 弘人 (小樽商科大学言語センター長・教授)
沼澤 政信 (小樽商科大学商学部社会情報学科長・教授)
平沢 尚毅 (小樽商科大学情報総合センター長・教授)

以上